

## 一九六年度の町予算

卷町議会議長 小林 十四三



卷之二

保刈郡司  
印刷所

昭和時報社

費などを入れますと、大体三百七  
十万円位が新規計画の費用として見  
積られたのであります。

経常費として著しく増額したのは  
職員の給与ベース改訂で、約百万円  
の俸給引上に要するものがあります。  
特別支出では国民健康保険の特別会  
計へ二十万円、二十五年度の継ぐく  
りの為に繰上充用金といふ名称で七  
十万円が喰込まれてゐます。予算に  
計上されない中学の便所や残つた教  
室の増築は、新首長、新議員への大  
きな課題となりましたよう。

二十六年度

卷四歲入注子管

長野県上木郡若穂村 古岩井 漢

三月六日 教育委員會

西  
洋  
大  
洋

中学校備品並に電灯配線工事に就て協議備品二十万円で大工組合に配線は十三万円で新潟通信に夫々指名請負を決定

三月十一日 産業委員会

鳥井の開拓と移動

黒耕、会の開催に協力すること  
鎧潟干拓事業について意見の交換

三月十三日 土木委員会

## 事業の計画について討議

三月十四日 十六日 遼寧參議會  
二十六年度予算當局の意向、各部

門毎の要求額を検討し当局提出の  
最後案の線を審議

三月二十日 中学校工事委員会

## 新築請負の運転場 機舎の受渡し 方法や附帯工事について協議

三月二十三日 警察消防委員会

勝入後の対策について審議

二月二十四日 在議院講全  
二十六年度予算について検討

三月二十四日 厚生委員会

三月二十六、三十日 三月臨時町会

職員に新給与ベースを支給する事  
や公安委員に野沢万治郎を推す事

卷之三

司意之水會打憂力洋號之實恐

## 二十六年度予算関係議案を議決す



